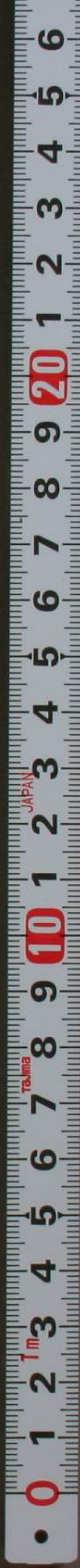


秘月記
址

延寶九年
天和元二二三年^四
貞享三三四子

大槻文庫

重文
洋学文庫
文庫 8
A 72



天和二戌冬

正月



一十五日... 右...

一十五日... 轉...

二月

一十日... 目向

今日... 門

二月

一朔日松平丹波守よりと文何れを其居るゝ念辰子ありお所
十并玉中より由所よりくわの礼中候より寺院より由所
より由所より代せり其月由るゝ是より

一廿日お所よりよりを別務所よりより可也西尾宿候より
由所より

一廿六日お所よりよりわけの由所よりより可也在り候
由所より

一廿八日と又之由より尾張よりより候よりより可也
日により候より

一廿一日尾張よりより見ゆ候西瀬之向由所よりより可也
由所より

41

一廿日申よりより候より由所よりより可也

冊之入紙とセテ入るる事是カト云

一廿日松平大納言因上申介内門心後初申中御
一廿一、白書院上申御請書取日然以御取以御書
布衣心と云々云々云々云々云々云々云々云々云々
云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々
云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々

一廿二日申前市川應也云々云々云々云々云々云々
云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々
云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々
云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々

一廿三日申前市川應也云々云々云々云々云々云々
云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々
云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々
云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々

自天和壬戌貳年一至文政二年己卯
一百三十八年

按此秘日記坤卜題セル一冊

自天和元年癸卯

改元 自二二二年至自享四年マテノ記録ノ残編ト

見ヘタリ右ニ任セテト合セタハ此次第ニモアルハ云々

天和元年辛酉細吉公拜征夷 意フニ此乾卷ハ 神祖ヨリ家綱公
皇有院殿マテ御四代ノ記録ナルヘシ

